

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【公開番号】特開2016-41281(P2016-41281A)

【公開日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2016-019

【出願番号】特願2015-226528(P2015-226528)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/36 (2006.01)

【FI】

A 6 1 F 2/36

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月23日(2016.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の股関節に移植するためのロック部材のキットであって、前記股関節は、頸および頭大腿骨の中心にそって縦にのびる中心軸を有する頸大腿骨に統合される頭大腿骨を有し、前記ロック部材のキットは少なくとも第 1 と第 2 のロック部材を備え、

a. 第 1 のサイズの頭大腿骨は人工の頭大腿骨面に留まって抑制されるままであるように、前記第 1 のロック部材は、第 1 のサイズを有する少なくとも 1 つの頭および頸大腿骨に、前記人工頭大腿骨面を固定するよう適合された要素を備え、

b. 第 2 のサイズの頭大腿骨は人工の頭大腿骨面に留まって抑制されるままであるように、前記第 2 のロック部材は、第 2 のサイズを有する少なくとも 1 つの頭および頸大腿骨に、前記人工頭大腿骨面を固定するよう適合された要素を備える、ことを特徴とする、ロック部材のキット。

【請求項 2】

前記第 1 のサイズは前記第 2 のサイズより大きいことを特徴とする、請求項 1 に記載のロック部材のキット。

【請求項 3】

前記第 1 のロック部材は前記第 2 のロック部材より大きいことを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のロック部材のキット。

【請求項 4】

移植されるときに、前記それぞれの第 1 および第 2 のロック部材は、頭および / または頸大腿骨を囲んでいるループ形状をつくるための位置で接続されるよう適合されるループ形の要素を備えることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のロック部材のキット。

【請求項 5】

前記第 1 のループ形の要素は、前記第 2 のループ形の要素より大きい直径を有することを特徴とする請求項 4 に記載のロック部材のキット。

【請求項 6】

前記第 1 のおよび第 2 のループ形の要素のそれぞれは、第 1 の係止状態を有するよう適合され、前記ループ形状は第 1 の内周部および第 2 の係止状態を有し、前記ループ形状は第 2 のより小さい内周部を有することを特徴とする請求項 4 に記載のロック部材のキット

。

【請求項 7】

前記ループ形の要素は、コード、導線およびバンドから選択される要素であることを特徴とする請求項 4～6 のいずれか 1 項に記載のロック部材のキット。

【請求項 8】

a．前記第 1 のロック部材は、前記人工頭大腿骨面を前記頭大腿骨および / または頸大腿骨に係止するよう適合され、

b．前記第 2 のロック部材は、前記人工頭大腿骨面を前記頭大腿骨および / または頸大腿骨によりきっちりと係止するよう適合される、

ことを特徴とする請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載のロック部材のキット。

【請求項 9】

前記第 1 と第 2 のロック部材は、第 1 と第 2 の係合部材を備え、前記第 1 の係合部材は、移植されるとき、前記第 2 の係合部材に係合するよう適合されることを特徴とする請求項 1～8 のいずれか 1 項に記載のロック部材キット。

【請求項 10】

前記第 1 と第 2 の係合部材は、前記第 1 の係合部材の雄設を前記第 2 の係合部材の雌設に導入することによって、機械的に自動接続するよう適合されることを特徴とする請求項 9 に記載のロック部材のキット。

【請求項 11】

前記第 1 と第 2 の係合部材は、前記人工頭大腿骨の内側に固定されるよう適合されることを特徴とする請求項 9 または 10 に記載のロック部材のキット。

【請求項 12】

前記ループ形の要素は第 1 と第 2 の末端を備え、前記第 1 と第 2 の末端は、2 つの回動可能なロック部材を備える係合部材を用いて、前記ループ形要素を形成するために接続されるよう適合されることを特徴とする請求項 4～11 のいずれか 1 項に記載のロック部材

。

【請求項 13】

前記第 1 と第 2 のロック部材の少なくとも 1 つは、前記ロック部材を人工の頭大腿骨面に配置されることが、頭および / または頸大腿骨を留めることを可能にするため、弾性体から作られることを特徴とするロック部材。